

育成モノづくり人材

Vol. 13

神奈川県立藤沢工科高校

神奈川県立藤沢工科高校は建築系、都市土木系、住環境系があり、建築関連が充実していることが特徴。

建築系は住宅設計、製図、材料実験、木工加備を中心に、電気工事工などを実習し、将来、建築士の資格取得を目指すことができ、3年次には課題研究実習する。



笹原校長

【DATA】▷校長=笹原哲也氏▷所在地=神奈川県藤沢市▷学科構成=生産技術系、情報通信系、建築系、住環境系、都市土木系、総合デザイン系▷総定員=714人▷主要実習設備=1トクレーン、パワーショベル、成形機、旋盤▷主な進路=日本ギア工業、新明和工業、横浜日野自動車、相鉄企業、湘南工科大学、神奈川工科大学、東海大学、日本工学院専門学校など

建築関連、充実の3学科

都市土木系は公共施設や構造物などの計画や建設、完成後の維持管理を学び、測量やコンクリートの強度実験、橋の設計図面の作成などを実習する。住環境系は空気調和設備と給排水衛生・防災設備

として「照明器具の製作」「電子工作班」の地域連携では藤沢「ボランティア的な活動だが、地域から課題をもらい、希望者が参加している」と笹原哲也校長は語る。

南台駅前商店会とは、小中高連携では、近隣の3小学校、1中学校との5校でさまざまな送設備の設置の手伝い



在来軸組工法で木造屋根の組み立てを実習する2年生

作物の展示や工作機械を持ち込んで、モノづくりの実地を披露している。

また、小学校6年生の授業に参加し、端材を利用して積み木などを製作する。「小中学生に接する時は教える立場になることで生徒自身も勉強になる。地域と連携することで、自然に社会との接し方を覚えられる」という。

(横浜総局長・玄蕃由美子)
(金曜日に掲載)